

令和5年度(2023年度)水道事業会計補正予算(第1号)について

令和5年度(2023年度)補正予算の主な内容

1. 建設改良事業予算の減額に伴い、業務の予定量を補正します。
2. 令和4年度から令和5年度までの2か年継続事業である「築比地浄水場系基幹管路更新事業」の第6工区及び第8工区の工事の完了に伴い、事業費とその財源を整理します。
3. 「西部配水場設備整備事業」について工期を令和6年度まで1年間延長することに伴い、継続費の年割額を変更します。

予算規模

業務の予定量

(単位：千円)

区 分	既 決 予 定 量	補 正 予 定 量	計
(4) 主な建設改良事業 西部配水場設備整備 工事等	4,554,400	▲1,264,000	3,290,400

予算の状況

収益的収支：水をつくり、ご家庭に水を届けるための財源と費用

(単位：千円)

	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
水道料金以外の収益	875,600	▲18,000	857,600
収入合計(A)	7,905,000	▲18,000	7,887,000
水道を届けるための 費用	6,960,600	▲172,000	6,788,600
支出合計(B)	7,328,000	▲172,000	7,156,000
収支差額(A-B)	577,000	154,000	731,000

【収入】

「水道料金以外の収益」

西部配水場設備整備事業の工期を延長することに伴い、「長期前受金戻入」を1,800万円減額します。

補正後の収入合計は、当初予算比1,800万円減の78億8,700万円となります。

【支出】

「水道を届けるための費用」

西部配水場設備整備事業の工期を延長することに伴い、「資産減耗費」を1億7,200万円減額します。

補正後の支出合計は、当初予算比1億7,200万円減の71億5,600万円となります。

資本的収支：水道施設を整備するための財源と費用

(単位：千円)

	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
水道施設を更新・改良するための借入金	1,420,000	▲557,000	863,000
収入合計(A)	1,976,000	▲557,000	1,419,000
水道施設を建設・改良するための費用	4,845,800	▲1,279,000	3,566,800
支出合計(B).33	6,342,000	▲1,279,000	5,063,000
収支差額(A-B)	▲4,366,000	722,000	▲3,644,000

※収支で不足する36億4,400万円は過年度損益勘定留保資金などで補てんします。

「損益勘定留保資金」とは、減価償却費などによって留保されるもので、資本的支出の財源になります。

【収入】

「水道施設を更新・改良するための借入金」

「築比地浄水場系基幹管路更新事業」及び「西部配水場設備整備事業」の財源の一部として借り入れる「企業債」について、当初予算で14億2,000万円を計上しましたが、「築比地浄水場系基幹管路更新事業」の第6工区及び第8工区の工事が完了し、事業費が確定したこと、並びに「西部配水場設備整備事業」の工期を延長することに伴い、借入額を5億5,700万円減額し、8億6,300万円とします。

【支出】

「水道施設を建設・改良するための費用」

「築比地浄水場系基幹管路更新事業」の第6工区及び第8工区の工事が完了し、事業費が確定したことに伴い、「工事請負費」を減額します。

第6工区について、当初予算で5億0,600万円を計上しましたが、1,400万円を減額し、4億9,200万円とします。

第8工区について、当初予算で2億4,000万円を計上しましたが、4,800万円を減額し、1億9,200万円とします。

「西部配水場設備整備事業」の工期を延長することに伴い、「委託料」及び「工事請負費」を減額します。

「委託料」について、当初予算で3,100万円を計上しましたが、1,500万円を減額し、1,600万円とします。また、「工事請負費」について、当初予算で21億1,600万円を計

上しましたが、12億0,200万円を減額し、9億1,400万円とします。

補正後の支出合計は、当初予算比12億7,900万円減の50億6,300万円となります。